

製図表記

基本編

一級とるぞ！ .Net

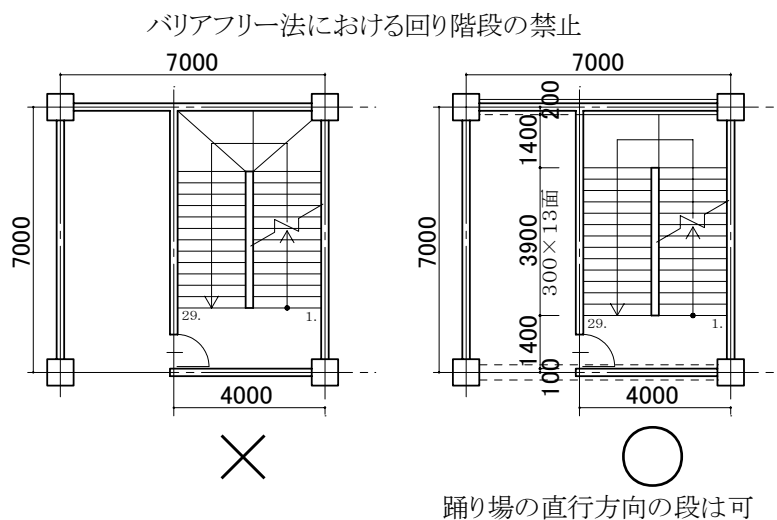
<http://19toruzo.net/>

目次

はじめに	3
平面図における表記項目	3
1. 構造体と主要部分	3
a. 柱・壁	3
b. 階段	4
c. 開口表記（出入口、ドア、窓、シャッター等）	5
2. 問題文で指定された項目	6
a. エレベーター	6
a-2) 人荷用エレベーター、その他	7
a-3) 小荷物専用昇降機	7
b. 室名・室面積、寸法、家具・備品、○○コーナー等	7
c. 断面位置を表すキープラン（矢印）	9
d. PS,DS等の表示	9
e. 集合住宅における具体的間取り	10
f. 耐力壁	10
g. 照明計画	12
3. 指定されていないが、判断により記入する部分	12
a. 階段、廊下（無いと計画自体成立しない部位）	12
b-1) 便所のレイアウト	12
b-2) 凡例	13
b-3) 上部の吹き抜けやトップライトの表示、	13
c. 和室の踏込、水屋	14
e. イス、テーブル等のレイアウト	14
4. 法規により表示すべき項目	14
a. 防火区画を表す防火戸の表示と避難方向	14
b. 避難距離、重複距離による階段	15
5. 敷地内外部	16
1. 指定されたオープンスペース	16
2. 駐車スペース	16
3. 駐輪スペース	17
4. ドライエリア+煙突+タラップ	17
5. スロープ・通路	18
6. ゴミ置場	18
7. 出入口表示▽	19
8. 植栽・屋外ファニチャー	19
9. 塀・門扉	19
10. 目地	20
11. 方位・境界線表示	20

12. 敷地内設備スペース	20
断面図における表記項目	21
1. 表現の要求	21
2. 表記項目	21
1. 建築物の高さ	21
2. 階高・天井高	21
3. 1階床高	22
4. 主要な室名	22
3. 各部位の大きさと表現	22
1. 梁	22
2. スラブ	22
3. 跳ねだしスラブ	23
4. パラペット	23
5. トップライト	23
6. 無柱空間の対処 a. S造の併用	24
7. 無柱空間の対処 b. SRC造の併用	25
8. 無柱空間の対処 c. PC造の併用	25
9. エキспанション・ジョイントEXP.J.	26
10. 屋上の屋外機置場等	27
梁伏図における表記項目	28
1. 表現の要求	28
2. 構造部材表	30

- 上図中央の手法を用いる場合は、壁を移動する側は必ずFLのドアのある側とし、踊り場の壁をずらしてはならない。踊り場側の大梁に頭がぶつかり、**大減点**または**失格**となる。
- 上図右手の手法を用いる場合、ドアの位置が階により変わるため、廊下と平行配置が前提となる。直行配置としなければならない時は2往復とするが、天井高有効に注意する必要がある。

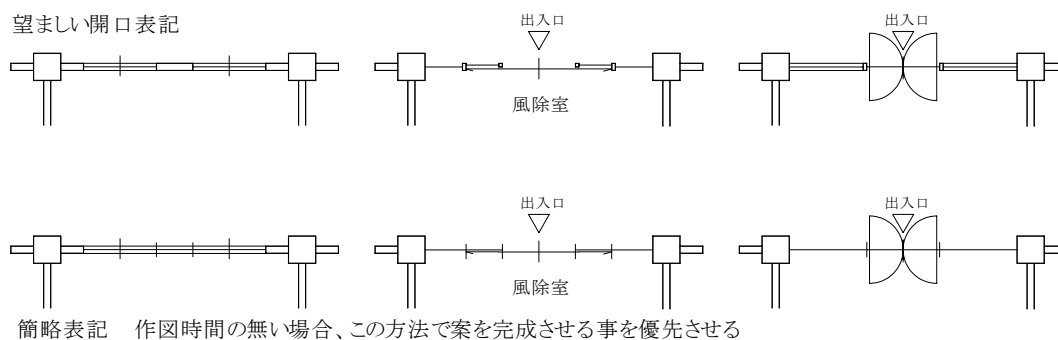


バリアフリー法においては、回り階段が禁止されている。ただし、踊り場直行方向の段は可となるので、階高4.5mの際は、右図のような表記とすればよい。

ドア側のスラブにおいても直行段を設ければ、階段中央の壁を厚300mmとしたり、細い吹抜けを設けることにより、4m階高であれば、6mスパンでも誘導基準階段とすることが可能。

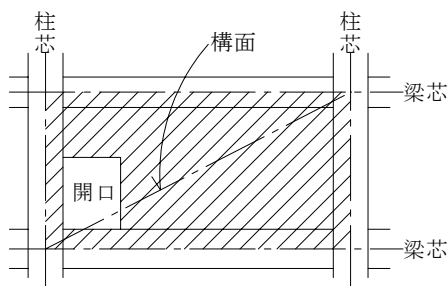
c. 開口表記（出入口、ドア、窓、シャッター等）

平面図を完成させる上で、サッシの表現にはかなりの時間を費やすこととなるので、エスキスで予定外に手間取った際には方罫（サッシ枠）などの表現を単線とするなど臨機応変に対応する。

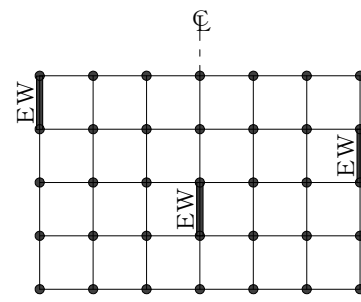


- 出入口には△印と「出入口」「通用口」等の補足説明を記入する。テラスやバルコニーへの出入口については△印のみの表記でよい。

耐力壁解説図

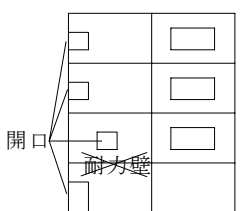
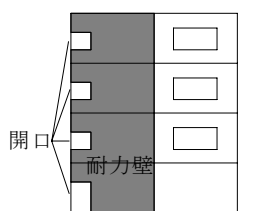


開口面積 < 構面面積 × 0.16...OK

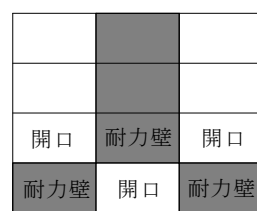


Y方向28構面。その1割以上=3枚以上

バランスの良い配置



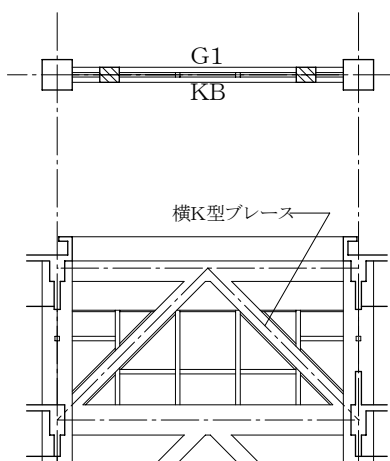
○ 開口の好ましい配置例 × 耐力壁として認められない



各階共通位置でなくても成立する例外

平成21年センター標準解答例には建物短辺方向のみEWを確保し、長辺方向は純ラーメン対応と思われる解答もあったことから、自案のプランニングによっては、バランスの悪い位置に無理に配置したり、EW配置により無窓の居室が生まれ新たな減点要因となるよりも、記述で適正な説明を行い、図面の構造部材表を利用して長辺方向は梁幅を割り増しする等の対応を取れば減点は無いのと思われる。標準解答例には記述の公表は無かったので、より安全な対処法として、問題文留意事項に「耐力壁等を設け、・・・」とある場合は、凡例を利用し、横K型ブレース*4を開口部スパンに配置してバランスをとるとよいだろう。

横K型ブレース設置例



凡例	
(凡例にないものを使用する場合は空欄に追加記入すること。)	
名称	記号
耐力壁	EW 厚200
横K型ブレース	KB 断面400×400

*4：横K型ブレースは上図のように大梁中央から柱と大梁の交点を結ぶ位置に設け、各階通しとする。(耐力壁との上下階組合せは不可。) このように、景観、採光を阻害しないブレースは耐力壁のバランス配置が困難な場合に有効な代替措置となる。